
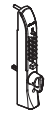

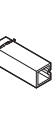
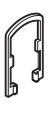




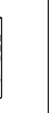



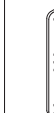



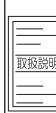





面付引戸自動施錠 両面ボタン 取付説明書

梱包一覧

※組立前に部品が揃っているかご確認下さい。

 A 本体 表側用 1 ※注1	 B 本体 裏側用 1 ※注1、2	 C HAM 錠 1	 D 角芯棒連結金具 1	 E 本体 スペーサー 2	 F 樹脂ベース 厚さ2.0mm 1 厚さ3.5mm 1 厚さ4.5mm 2	 G 本体固定ねじ 丸皿小ねじ 表用(短い) 1 裏用(長い) 1	 H 面付受座 1	 I 面付受座裏板 両面テープ 各 1	 J 受座スペーサー 厚さ1mm 2 厚さ3mm 1	 K 彫込 アタッチメント 1
 L 皿小ねじM4×25 4	 M 皿コンピねじM4×25 皿コンピねじM4×40 各 4	 N アジャストプレート 1	 O アジャストスペーサー 厚さ1mm 2 厚さ3mm 1	 P M4 六角ナット M4 平ワッシャー 各 4	 Q トラスタッピンねじ A1・M4×20 5	 R 取扱説明書 1	 S Rの袋に同梱 解錠方向シール 1	 T 取付説明書 切欠図 各 1	 U キー 2	※K368Mのみ

※注1：本体には、[1] 鍵なし、[2] 鍵付き、[3]MIWA 対応品、[4]GOAL 対応品の4種類があります。

※注2：⑥本体裏側用には、⑥HAM 錠、⑥樹脂ベース(4.5mm×1)が、あらかじめ組み込まれています。

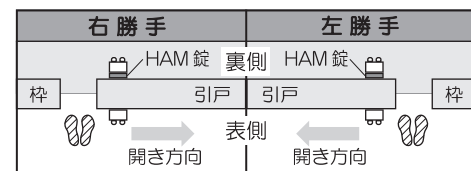
① 取付準備

⑤ 作動確認が終わるまで、引き戸は閉めないでください(クサビ等で引き戸を固定するとよい)

1

開き勝手の確認

下図で引き戸の開き勝手の確認をします。

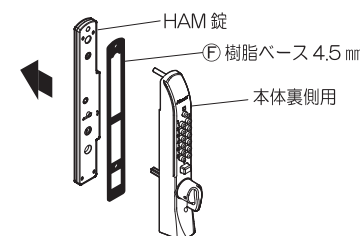
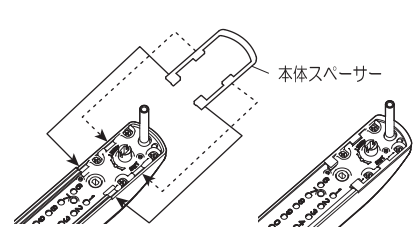
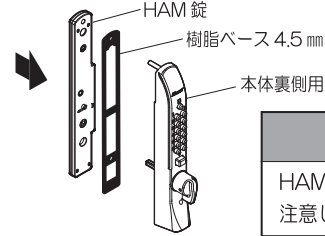


本体表側用 (HAM 錠が取付かない側) から見て、戸を右に開ける …………… 右勝手

本体表側用 (HAM 錠が取付かない側) から見て、戸を左に開ける …………… 左勝手

2

⑥ 本体スペーサーを取り付けます。(A 本体 表側用は②と同じ要領で行います)

① 本体裏側用から HAM 錠と
⑥ 樹脂ベース 4.5 mmを外します。② 本体スペーサーを本体裏側の
くぼみに合わせてはめこみます。③ 取り外した HAM 錠と樹脂ベース 4.5 mm
を取り付けて戻します。

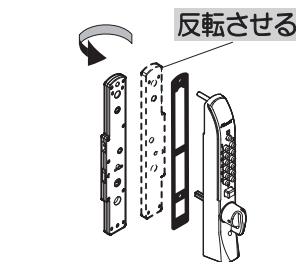
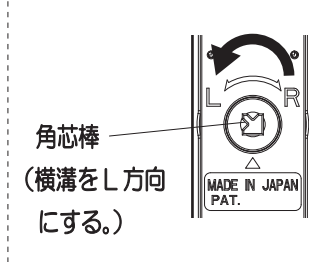
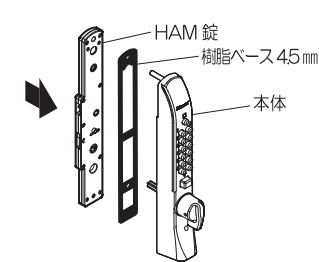
注意

HAM 錠の勝手方向に
注意してください。

3

(左勝手の場合)

HAM 錠を開き勝手にあわせる

※工場出荷時は右勝手になります。
左勝手への変更は、右記の操作
にて行ってください。※右勝手の場合は **4** へ① HAM錠を本体から外し
反転させます。② 本体裏面の角芯棒
を回転させます。③ HAM錠と樹脂ベース4.5mm
を本体に取り付けます。

このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

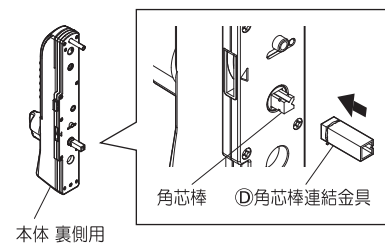
製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。

引渡し時に、本紙：取付説明書と別紙：取扱説明書(お施主様向)を、お施主様へお渡しください。

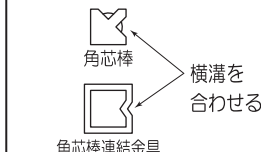
締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

4

連結金具の取り付け

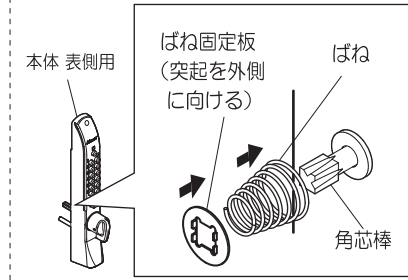
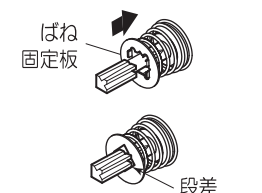
① 「本体裏側用 の 角芯棒」に
「⑩ 角芯棒連結金具」を
押し込みセットします。

注意

角芯棒連結金具の溝は角芯棒
の溝にあわせて必ず横向きに
セットしてください。⚠ 取り付けを間違えると
施解錠が正常に作動しません。

②

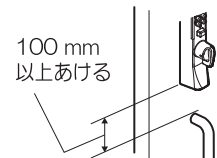
※扉厚 40 mm 以上の場合のみパーツが付属しています。

「本体表側用 の 角芯棒」
にパーツをセットします。⚠ ばね固定板は奥まで
押し込み、回転させて角
芯棒の段差にひっかけます。

3

引き戸と枠の納まりを、
裏面 ④ 面付受座の取付 で
ご確認ください。

注意

(鍵付き本体の場合)
本体とハンドルの隙間は 100 mm 以上
開けて下さい。キーの操作ができなくなります。

② 引き戸への取付穴加工

A ⑥ 本体・H 面付受座の取り付け穴加工をします(別紙 切欠図 参照)。

③ 本体の取付

※本図は右勝手仕様です。左勝手は対称です。

1

引き戸の表側に、本体 表側用 をセットします。

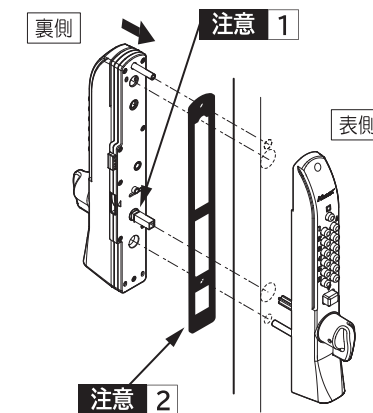
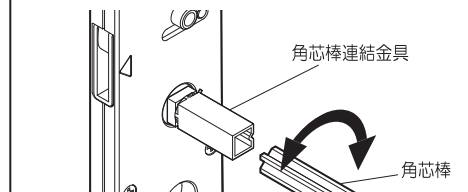
注意

鍵付タイプでは、キーを
抜いた状態でセットします。

裏側

表側

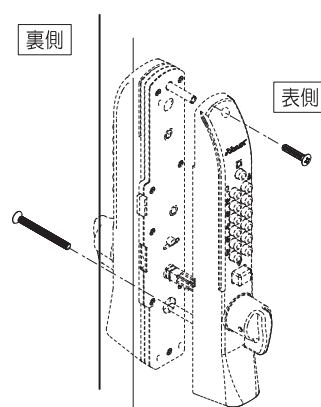
2

裏側から「HAM 錠・本体
裏側セット」をセットします。注意 1 角芯棒連結金具に合わせて角芯棒を
回転させ、セットしてください。

注意 2

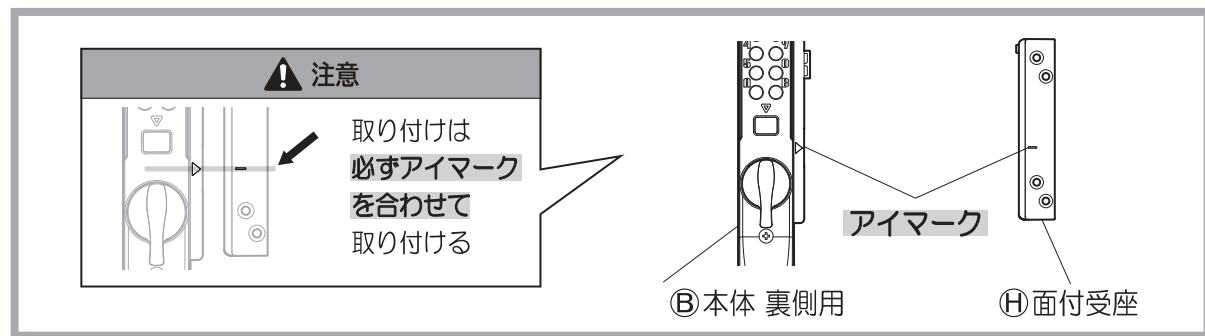
⑥ 樹脂ベースの厚さ 4.5mm は必ず使用 します。
厚さ 2.0mm と、3.5mm は本体 裏側用の高さ
調整にお使いください。

3

本体 表側用と本体 裏側用から各 1 本
④ 本体固定ねじで固定します。

④ 面付受座の取付

④面付受座を取り付けます。納まりにあわせて ①～⑩を使い分けます。



【取付例：Aパターン】

枠の表面からの寸法 (④受座スペーサーの使用状況により寸法は変わります)

46 mm 戸じゃくりの深さに注意する

必要に応じてお使いください

ボスを上にして取り付ける

④ L=40

アイマーク

④

引き戸

枠

【取付例：Bパターン】

面付受座先端からの寸法

24 mm

① 面付受座裏板に両面テープを貼付してから

④ 面付受座の裏面に貼付します

④

ボスを上にして取り付ける

④ L=40

アイマーク

※ 両面テープを貼付するときは、貼付面のホコリや汚れなどをしっかりふき取ってください。

引き戸

枠

【取付例：Cパターン】

④ アジャストプレートの調整範囲

上下方向 5.5 mm

左右方向 15 mm

46 mm 面付受座結合面からの寸法

必要に応じてお使いください

ボスを上にして取り付ける

アイマーク

④

引き戸

枠

【取付例：Dパターン】

枠の表面からの寸法

30 mm 戸じゃくりの深さに注意する

△を上にして取り付ける

④ L=25

ボスを上にして取り付ける

アイマーク

④

引き戸

枠

⑤ 作動確認

HAM 錠の作動確認をします。

⚠ 注意

❗ 作動確認は必ず引き戸を開けた状態で操作します。

❗ 解錠操作をせずにロックターンを操作すると空転します。

1 HAM 錠の作動確認

① トリガーを押し込み鎌デッドが出ることを確認します。

② 記憶番号とエンターボタンを押し、ロックターンを回転させます。

③ ロックターンを回転させると、鎌デッドが引き込まれ、トリガーが飛び出すことを確認します。

2 本体の記憶番号で 解錠確認 をします (別紙 取扱説明書「解錠の方法」参照)

⑤ 解錠方向シールは解錠方向にあわせて必ずお貼りください。

取り付けがうまくいかないときは

症 状	考えられる原因	調 整 方 法
引き戸と枠に隙間ができる 	閉戸する前に HAM 錠が面付受座に当たっている 	キーレックスの取付位置を戸尻側に調整する
引き戸を閉めても施錠しない 	閉戸しても HAM 錠が面付受座に当たらずトリガーが押し込まれないため鎌デッドが出ない 	方法 ① キーレックスの取付位置を戸先側に調整する 方法 ② ④ 受座スペーサーでかさ上げる

株式会社 長沢製作所
www.nagasawa-mfg.co.jp

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

22.02.01